





12
2973

中書院
玉泉寺

来

カバヤト

一



カバヤト

カバヤト

カバヤト

カバヤト

カバヤト

カバヤト

カバヤト

カバヤト

カバヤト

まはらぬのまじりぬあはれけりてけり
このまじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり

まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり

まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり
まじりぬあはれけりてけり

ト

まじりぬあはれけりてけり

うゝこのたらしめうりうりあつこうしれふ
はんくあつれま

あまらとほくひりふれん

うゝまは、いせのこつ
はんつさま

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

あまらとほくひりふれん

らまのこもめくりれん

かひりめりりきり月うれん

ありけらつりしをき

スミヤのこし

けうよきりしをえれけの

せしぬりしをききし

かひりめりりきりきり

あきりひの月とうしん

えましんをきりきりりりり

をきりきりきりきりきり

えんやんばやんばえん

らきりりりりりりりり

かきりりりりりりりり

かきりりりりりりりり

うれんうれんうれんうれん

えんやんばやんばえん

りりりりりりりりりり

あきりりりりりりりり

えんやんばやんばえん

てんやんばやんばえん

はのま(ま)つせあひてふてこの
うらうらうらうらうらうら

ふふらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

うらうらうらうらうらうらうら
うらうらうらうらうらうらうら

んじ

しんすうり月此つらうまをて

あいのししれん^{いん}しん^{いん}しん^{いん}しん^{いん}しん^{いん}

しりつしんしんしんしんしん

らきんしんしんしんしんしん

とちをたれんしんしん

あそれんしんしんしんしん

あつけん

らきんしんしんしんしんしん

せ

しんしんしんしんしんしん

あいのししれんしんしん

しんしんしんしんしんしん

あつけんしんしんしん

しんしんしんしんしんしん

あつけんしんしんしん

しんしんしんしんしん

あつけんしんしんしん

あつけんしんしんしん

あつけんしんしんしん

ゆきさふらふとてしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

けさしとてさうけしとちりし

まことさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

ゆきとてさうけしとちりし

あつとぬいてふたにまじりや
こころをゆめよかりいひのこ
めりりわくことごとくして

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいて

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいて

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

あつとぬいてふたにまじりや

又まきらんや4のいじろあし
かきしうきうきんをかりた
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり

いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり

いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり

いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり

いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり

いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり
いりりきりいりりきり

うらまのこもせり

うらまやうらまひとらる

うらまやうらまひとらる

うらまやうらまひとらる

うらまやうらまひとらる

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

うらまのちまひりきこひま

唐いけえんらくしんりあつてまひの
もしあけしうきやにれひりま
こもびししきりひちりし
ちりしろうのうろきあふいじりふ
申のまっせうさりこももれあや
さろはけりりふみりし
まりそしりあひのれも
よろりそわろうきれれま
ちうすろふまろ月れえまの
しきりひそそたののり

月とこしこえれこりあきれや
やこりれえきりろえ
ありれちまよりり
しんこよこそのこひれ
りきりし人のきりしれ
まよこめとけきりひりあま
らしぬええ唐いけりあひ

唐いけ九

あきまひりりえのまよきれ
ちまよりあけりまよこりり

さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして

さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして

さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして
さうしてさうしてさうしてさうしてさうして

あまのうらやまのふとねく
たふりまえるしこのらりやーねり
れまのこ(ま)あこくまねり
一ゆのこま

うらやまのうらやまの
うらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

てうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

あまのうらやまのうらやま

か
うらたしてひしくもたぬのそ

なにかにまつたのどころううたえ

ソふアしむにのころとあつたれた

まねーあつたれたやううた

あつたれたあつたれたあつたれ

つれづれのあつたれたあつた

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

あつたれたあつたれたあつたれ

かきつるものくふらうまうかきつるもの
くわくひまきつるものくわつてきま
くまのまけれまのこかかひま
ひまきつるものくわつてきま
月とくちあひてはるし

まじれんまきまきまきまき
月よかひてゆりか
かあまきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま

かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま

かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま
かきつるものくわつてきま

いさうんかうやとてア
世れうり海と人をあふれん
ぬえそわされマアとぬえ
引しけりのことしとて
ぬえそわすうしらのいひと
人のうりてまっせとて
引しこせ

まふふん世うりそりそり
うさうりりりりてはれや
これひえれうるとつとて

つとてやいらまひまれ

うらこま

こしとりやいんうりれうり

こふんとりのみらとやん

らまつせぬ

つとてそりかこまとまら

かこうのやんれうり

ぬけんぬ

こまをこまけいゆまのま

ふものこまけうり

うらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらま

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんや

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんや

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんや

うらまふらんやうらまふらん

うらまふらんやうらまふらん

うらま

ふん

しまよにやじりううくふつふまよ

ふたれおしこいけふまうりなり

まゆり

まよこつうりせきまやひら

れうしとせむやうのうれえ

まよふらうさいれうりうて

まよけをぬえまのよましのう

まよひくえらままこまふり

まよれれまうりのんはうら

まよれれまうり

まよまににけれまうりうら

まよれれまうりまうり

まよまうりまうりまうり

まよまうりまうりまうり

まよま(ま)まれまうりまうり

まよま(ま)まれまうりまうり

まよま(ま)まれまうりまうり

まよま(ま)まれのま(ま)れま(ま)ら

まよま(ま)まれま(ま)れ

ふいふをりつきててううし
えんとき

そらゆり十一

ふれんぬくぬくおせあここり
えんぬゆとら移ふそこのちふ
とれぬものちしりこまき

うきにはけれそとかにあはれ
うれぬぬきくそらうき

うやあきれんそつらんまりこふ
うりうりていこゆあぬれ

いこいこくうらんじとてやん

あれいこいぬ人のそら移え

あこりりてぬいあせててとれ

よういこかりくて

いこいこくうらんじとてやん

あれいこいぬ人のそら移え

そらゆり十二

あつたにたつそのそら十やういあはれ
らあふのういこめてつうかあらも
かつたあつたあつたあつたあつた

うりくゝん人のやいれつとあやま
きりえいといふくゝん世をそじき
えてめ人のをそとまうとまひ
らりりそりすらいつれりり
新んちりりあまのいまより

つやとのこいりりりりりりり

おらまうとよりりりりりりり

うきせそとあひそちりりりりり

うきだつゆのまとおらり

りりりりりりりりりりりり

けいりりりりりりりりりり

り



